

大地震関係ニュース（青森民医連）23



2011.3.31 11:00
青森民医連 事務局

地震・津波発生後の皆さんのご奮闘に敬意を表します。
県連内の状況を取り急ぎお知らせ致します。
全国の状況は、全日本からのニュースをご参照下さい。

募金額 495,184 円

広がる善意の輪！ 塩釜の避難所で、坂病院にお世話になったから

青森民医連でとりくんでいる緊急支援募金。職員のご家族（おばあちゃん）から2千円頂きました！避難所で民医連の医療チームにお世話になったとのこと。



地震・津波の直後にライフラインが断たれて、避難所である塩釜市の月見ヶ丘小学校に行った。でも満杯で入れなかったから、近所の方の車の中で一夜を過ごした。翌日、民生委員の方に“避難所が空いたからおいで”と言われて行った。

避難所では「坂総合病院のほうから来ました」という医療チームの人たちが、一人ひとりに声をかけてまわっていた。よくよく聞けば、九州や東京から来ていると！私も血圧を測ったら普段より高く、頭は痛くないですか？など気遣ってもらった。手がむくんでいた人とは「塩分過多になっているから、もう少しお水を飲もうね」「オラは肉付きがいい手なのさ～」という会話がされていて、笑わせてもらった。とにかくイイ人達だった！和ませてくれて。他の避難所にも回ってみたいので『やっぱり坂は良い病院だ』と話題になっていたよ。

また、避難所の方たちは民医連の現地取材班を見て「私たちも新聞に載っちゃうかしら」と話されていたそうです。（おばあちゃんは現在、秋田県経由で青森市内に避難しています。）

罹災地域を訪問中 八戸医療生協から現地レポート

(3/29) 石原Ns（診療所）、久保田氏、佐々木氏（生協本部事務員）の3名が小中野地区12軒訪問、5軒と対話しました。床下浸水が多かった地域ですが、みなさん体調は良さそうです。

「工場の機械が浸水し、乾かして使っている」「親戚の家を泊まり歩いて避難した」など聞くことができました。訪問先は掃除などが終わり、ゴミの回収が終われば、以前に戻れるように見えました。しかし、その隣近所ではまだ避難生活をしていて、全く片付けできていないお宅もあり、道端では津波で上がったヘドロの粉塵も風にあおられて舞い上がっていて、清掃等の行政支援もまだまだ必要だと感じました。



打ち上げられた漁船



浸水で廃棄する寝具



ヘドロが溜った住宅地